

平成25年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1003

施設名	伊丹市立美術館		
施設の設置目的	市民の美術に関する知識及び教養の向上並びに芸術の振興を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 <small>（団体の住所又は所在地） 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内</small>		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 21年 4月 1日 ~ 平成 26年 3月 31日	
管理運営上の目標 <small>（管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標）</small>	指標名	展示事業数 （単位： 回）	
	指標の意味	年間の展示事業数	
	今年度の目標値	8	今年度の実績値

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17	H21	H22	H23	H24	H25 (上期)	H25 (通期)
	来館者数(人)		12,727	31,462	36,335	37,168	31,688	12,286
延べ事業開催回数(回)		6	20	20	39	28	11	21
延べ事業参加者数(人)		12,727	31,630	36,335	37,168	32,188	12,286	22,397

H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成25年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	66,800	指定管理委託料	66,800
	事業収入(講座料収入等)	1,810	事業収入(講座料収入等)	3,618
	利用料金	10,472	利用料金	6,672
			助成金	2,000
	合計	79,082	合計	79,090
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	30,354	人件費	28,681
	維持管理経費	14,718	維持管理経費	15,167
事業等経費	34,010	事業等経費	34,154	
合計	79,082	合計	78,002	
<収支差>		<収支差>		
収入合計 - 支出合計	0	収入合計 - 支出合計	1,088	

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）			H21	H22	H23	H24	H25	H26
	<単位:千円>							
市の収入	0	0	0	0	0	0	0	-
（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	0	0	-
市の支出	71,355	83,964	69,912	66,619	72,567	-	-	-
（内、指定管理委託料）	68,395	64,995	65,676	65,756	66,800	-	-	-
実質経費（歳出 - 歳入）	71,355	83,964	69,912	66,619	72,567	-	-	-

施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的 to 実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業者の業務水準が下がらないよう、チェックリストによる点検を実施している。 また、環境マネジメントシステムに則し、節電等に積極的に取り組んでいる。	A	館内は常に清潔に保たれておりアンケート結果も高評価である。施設管理は協定書・仕様書の水準を満たし、適切に行われている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	各種研修に積極的に参加するだけでなく、館内で随時研修を実施している。	B	必要な職員の配置がされている。また外部研修へ積極的に参加するだけでなく、救命救急講習なども受講し、能力向上に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B	消防局の協力により救命救急講習(AED)を受講している。	B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を整備し、年2回の防災訓練を消防局立会いのもと実施している。	B	みやのまえ文化の郷一体で、緊急連絡体制が整備されており、訓練も行われている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	アンケートを随時実施し寄せられた意見・要望に対し、迅速な対応を行っている。職員はもちろんのこと委託業者にもサービスの向上に努めるよう指導している。	A	アンケート結果をもとに、みやのまえ文化の郷内で定期的な情報交換を行っており、利用者ニーズを速やかに施設運営に反映させている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	アンケート結果等に基づいた展示会内容及び新たな講座を開催し、好評を得ている。	B	施設間で事業の連携・情報の共有を行い、効果的に事業展開を図っている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	電子データ等の情報管理は厳格に行い、持ち出しは一切禁じている。またHPの充実および広報に積極的に取り組んでいる。	B	各種データは適切に管理されている。またホームページや広報紙だけでなく各種メディアや団体等に対し積極的に情報提供を行い、知名度向上に取り組んでいる。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に執行している。	B	収支計画に基づき、適正に行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」= 協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」= 協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」= 協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」= 当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	「棚田康司展」や「加藤久仁生展」など、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる展示会を工芸センターや郷町館と共同開催開催するなど、みやのまえ文化の郷の有効的活用と集客力の向上を図っている。今後は開館から26年を経過し、設備の老朽化が進行していることから、その状況を的確に把握した修繕計画を作成し管理運営を行っていただきたい。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」= 管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」= 管理運営が優れていると認められる。

「B」= 管理運営が適正であると認められる。

「C」= 管理運営が改善を要する水準である。

利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・駐輪場の場所がわかりづらい	・駐輪場への案内を矢印表記で複数設置
	・ドーム工等の館蔵品を積極的に展示してほしい	・年度末の所蔵品展でドーム工等代表作を出品
	・1階に(撤去した)ソファと椅子を戻してほしい	・展示に差し支えないようソファと椅子を復元
回答者数	・はじめてきたので各展示室への導線がわかりづらい	・各展示室への看板表記を常設設置
867	・展示室空間と作品設置のバランスがいい	・リピーターが常に新鮮に感じられる展示設計も考慮

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	